

2018

PIANO RECITAL

大宜野干 TAKAHIRO HOSHINO

～ 継承される作曲家たちの響き ～

PROGRAM

- D.Scarlatti : 5Sonatas
- W.A.Mozart : Sonata KV330 C-Dur
- L.v.Beethoven : Sonata Op.57 f-moll "Apassionata"
- ～ 休憩 ～
- S.Rachmaninoff : 性格的小品 Op.3 より
2.前奏曲「鐘」 1.エレジー
- S.Rachmaninoff : 絵画的練習曲 Op.39-9「鐘」
- C.Debussy : 前奏曲 II 集より
ヒースの茂る荒野、風変わりなラヴィーンヌ將軍、花火
- C.Debussy : 喜びの島
- F.Schubert=Liszt : ワルツカプリス「ウィーンの夜会からの招待」
- F.Liszt : 夜想曲「愛の夢」No.3、忘れられたワルツNo.1
- F.Liszt=干野宜大編 : ハンガリー狂詩曲 No.13「マジャールの歌」

“ホロヴィッツの恋したピアノ”

ヴィンテージNYスタインウェイ CD75 使用

タカギクラヴィア所有

9/16 (日)

開演 14:00 開場 13:30

石橋メモリアルホール

一般 5,000円 学生 3,500円 全席自由

【チケットお申込み&お問合せ】 オフィス・ブルミエ

Mail : office.premier2017@gmail.com FAX : 044-922-8618

協力 : T&K クラシックス タカギクラヴィア(株) 後援 : 学校法人上野学園 Office Premier

WEBお申込み



干野 宜大

北海道出身。4歳よりピアノを始め、翌年には初めての公開演奏で、即興演奏や自作曲の演奏を行う。全日本学生音楽コンクール小学生の部北海道大会第1位、並びに東京大会第3位受賞。桐朋女子高等学校音楽科（共学）を経て、同大学、同大学研究科で学ぶ。在学中、家永音楽事務所ピアノ・オーディションなどで優勝、上位入賞し、活発な演奏活動をおこなう。1994年からハンガリー国立リスト音楽院にてハンガリー政府給費留学生として研鑽を積む。留学中に、マリア・カナルス国際コンクール特別第1メダル（第4位）、ヴィオッティ=バルセミア国際コンクール（現バラッロ=セミア国際コンクール）第2位、カントウ国際ピアノコンチェルトコンクール第1位並びに聴衆賞、マスタープレイヤーズ国際コンクール優勝（マスタープレイヤーズ大賞）並びに特別名誉賞、TIM ROMA 国際コンクール特別名誉賞など、数々の国際コンクールにて上位入賞、優勝。それらをきっかけにヤング・ブラハ国際音楽祭、マスタープレイヤーズ国際音楽祭などのヨーロッパ各地の音楽祭に招聘される。



ハンガリー国際「5つの豎琴」音楽祭に招かれた際には、最も才能と将来性に溢れたアーティストに贈られる「リラ大賞」を日本人としては指揮者の小林研一郎氏に次いで二人目の受賞者となる。これまでに、ハンガリー交響楽団、ハンガリーMAV交響楽団、ハンガリー・ソルノク市交響楽団、モスクワ管弦楽団、ルーマニア国立管弦楽団、ポーランド・ステテック管弦楽団、ブラハ室内管弦楽団、ルガーノ室内管弦楽団、また国内では東京ニューシティ管弦楽団、札幌交響楽団などのオーケストラと共演する。2000年の東京文化会館でのデビューリサイタルが大成功を収め、『音楽現代』の「今、目が離せない10人の日本のピアニスト」にてトップページで扱われるなど、各誌でその演奏と才能を高く評価される。活発な演奏活動と共に、2001年より母校の桐朋学園大学音楽学部ピアノ科講師、また、2006年より札幌コンセルヴァトワールより客員教授を務める他、2011年からは上野学園大学音楽学部ピアノ科准教授など、2017年にはブルミエ・コンセルヴァトワールを設立し院長に就任するなど、積極的に後進の指導にあっている。オフィス・ブルミエ代表。これまでに河原裕康、宮澤功行、松岡貞子、田崎悦子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、デミトリー・バシキーロフ、ジョルジ・ナードル、フェレンツ・ラドシュの各氏に師事した他、フランスピアノ界の巨匠エリック・ハイドシェック氏との交流に恵まれる。2004年、デビューCD「LISZT - SCHUBERT」をアウローラ・クラシカル（オクタヴィア・レコーズ）よりリリースし、『レコード芸術』、『音楽現代』など各誌で高く評価される。2005年にリリースされた、友人でもある権 龍模作品集 CD アルバム『祈り』では全曲に渡ってピアノを担当。ジャンルを超えた演奏技術と表現力の高さを絶賛される。2007年10月にはソロでは2枚目となるCDアルバム『熱情・クライスレリアーナ』をアウローラ・クラシカル（オクタヴィア・レコーズ）よりリリース。レコード芸術誌で特選盤に選出されるなど、高い評価を得る。その他オクタヴィアレコード トリトンから Liszt I（レコード芸術 準特選盤）、nys（コロンビアマーケティング）よりオールベートーヴェンアルバム「Passion」（レコード芸術 準特選盤）をリリース、いずれも高い評価を受けている。近年は日本各地でソロリサイタルやオーケストラとの共演、室内楽コンサートの他、ハンガリー・ソルノク市立交響楽団定期演奏会及びオペラシティコンサートホールでの来日東京公演のソリストとしてバルトークのピアノ協奏曲第3番を共演し大成功を収めた。2018年3月には東京ニューシティ管弦楽団定期演奏会のソリストとしてラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番を共演し、その模様はNHK FM ぶらぼー！オーケストラで放送された。近年は（株）タカギクラヴィアから『ホロヴィッツの恋したピアノ』こと1912年製のヴァンテージニューヨークスタインウェイ CD75の貸し出しをサポートされ、浜離宮朝日ホールや東京文化会館、タカギクラヴィア松濤サロンでの「松濤くらしっくマニア」シリーズ演奏会、ヴィルトーソシリーズ演奏会、ヴラディミール・ホロヴィッツメモリアルコンサートシリーズなどヴァンテージニューヨークスタインウェイとの親密な関係を築いている。

(株)コンサート・イマジン専属アーティスト 2006-2016 T&K クラシックス タカギクラヴィアグループ 専属アーティスト 2017-現在

【使用ピアノ：タカギクラヴィア所有 ヴァンテージニューヨークスタインウェイ《CD75》】

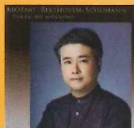
20世紀最後の巨匠ホロヴィッツ。没後四半世紀を経ても彼の人気は衰えることなく常にカリスマ的存在であり続けている。生涯数台のスタインウェイしか弾かなかったホロヴィッツが最も愛した1912年製のスタインウェイ《CD75》。1983年6月、初来日のNHKホールにも運ばれ大なる衝撃をもたらした、今も「ホロヴィッツ・コンディション」を保っている楽器は世界でこの1台しか存在しない。現代のピアノとは全く異なる圧倒的なパワーと色彩豊かな音色を持ち、まさにクラシック黄金時代の頂点を極めた巨匠たちのピアノである。



『Passion』 ベートーヴェンの神髄を語りつくす干野宜大の三大ソナタ
ホロヴィッツの愛した《CD75》が放つ王道の深淵
商品番号：QACK-30013 定価：¥3,000 (税込)



『リスト I ～内なる深淵との対峙～』
拘りのリストアルバム！ 聖人フランツ・リストに至る軌跡を辿る
商品番号：OVCT-00085 定価：¥3,000円 (税込)



『熱情、クライスレリアーナ』レコード芸術誌 特選盤
確かなテクニックに裏打ちされた深い音色、研ぎ澄まされた音楽
商品番号：AUCD-00018 定価：¥3,086円 (税込)



『リスト、シューベルト曲集』
干野宜大 CD デビューアルバム！
商品番号：AUCD-00006 定価：3,086円 (税込)